

大塚 敬節
矢数 道明
責任編集

世漢方医学書集成

58 尾台榕堂二

名著出版
刊



南京中医药大学图书馆版权所有

近世漢方医学書集成 58

尾台榕堂(二)

第II期
全30巻

昭和五十五年十二月十九日 発行

編者 大塚敬節

発行者 中村安孝

発行人 株式会社名著出版

東京都文京区小石川三ノ十ノ五
電話東京(八一五)一二七〇番代
振替口座 東京七一二〇四九四番

製版所 株式会社 日本写真製版社

印刷所 有限会社 伊藤印刷

製本所 辻本製本所



子約限定版

落丁本・乱丁本はお取替えします。

責任編集

大塚敬節

矢数道明

編集委員

山田光胤

寺師睦宗

大塚恭男

矢数圭堂

松田邦夫

凡 例

一、本書第五十八卷「尾台榕堂(一)」には、『方伎雜誌』『橘黄医談』を収録した。

二、本書は全て影印版によって収録したが、影印にあたっては次のようにした。

イ、新たに柱と頁数を付した。

ロ、底本を縮小し、一頁に半丁ずつ収めた。

ハ、裏表紙や記事のない白紙は省略した。

ニ、版本の場合、本文中の蔵書印及び所蔵者による書き込み等は、全て省略した。但し、写本の場合はその限りではない。

ホ、印刷不明な箇所は、他の版本等により補正したところもある。

一、底本は次の通りである。

方伎雜誌 版本（明治四年版） 三卷三冊（大塚敬節所蔵）

橘黄医談 慶応義塾大学医学情報センター所蔵写本 二冊

一、本書収録書目の解題については、第五十七卷「尾台榕堂(一)」に記した。

尾
台
榕
堂
二

目次

凡例	三
方伎雜誌	一
序	五
卷一	一五
卷二	一一
卷三	二三
跋	三四
橘黃医談	三五
序	三七
卷上	三五
卷下	四三

方
伎
雜
誌

方伎雜誌

一

修琴堂藏書
第拾貳號

榕堂尾臺先生著

方伎雜誌

東京

錦森堂發兌

方伎雜誌序

余處療之暇。每獲一事。雖
瑣末。錄投之瓶中。積得三
卷。子弟請入彫。余曰。是免
園冊子。何足傳乎。曰。然既

已成卷。以書雅國字。皆得
心悟之說。讀者化而裁之。
活而運之。足以開神知發
意識。寧可飽於蠹蟬耶。強
請不置。因刻貽同志。嗚呼

醫事要精詣。貴投機達權。
子弟讀之。不為馬服氏之
子。斯可矣。明治庚午南至日
榕堂主人尾臺逸撰



喜多見重遠書



方技襍誌序

甚矣我道之衰也。自東洞氏逝。百餘年于茲。能繼其緒者。月乏歲空。雖曰末奈何。豈無其責之所歸哉。俯而思。仰而歎。嘗私筭其人。手舉而指不多屈。適有客曰。榕堂翁懼風疾。予聞而益歎。

訪之。舌不如昔之辯。腳不及昔之健。起如不勝衣。輿而能行。然精神不少衰。志氣益旺。入則凭几繙帙。出則徘徊武綏。毛陸之際。乞治者。受業者。應接不暇。而其方寸之中。恢乎有餘地。常磨朱研墨。凡自載籍所傳。至唱酬